

2019年度 個人研究実績・成果報告書

2020年 4月 6日

所属・職名	商経学部 准教授	氏名	小林直人
研究課題	AI関連技術のリテラシー教育の相互活用、さらにエンタテインメント分野への活用を意識して		
研究キーワード	AI、エンターテインメント	当年度計画に対する達成度	4.当初の計画どおり研究が進まなかった
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>教育関連については授業内で実践するなどし、予備的な調査を行った。またエンタテインメント関連について学生と協力してコンテンツを開発し、情報処理学会全国大会で発表予定であったが、予定通りに進まず、次年度への持ち越しとなった。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載） 特になし。</p> <p>3. 主な経費</p> <p>主に書籍と消耗品に利用した。なお、PCを購入予定であったが、用途が変更となったため消耗品費へと振り替えた。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>【その他の助成金】</p> <p>千葉商科大学経済研究所「安全で公平な金融システムの実現に資する Fintech フレームワークの提案(大矢野プロジェクト)</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">(本文は1ページ以内にまとめること)</p>			